

事例2 「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること」をねらった事例

○学年 第5学年

○主な領域 [思考力、判断力、表現力等] A 話すこと・聞くこと

○事例のポイント

- ①対話によって自分の考えを広げたり深めたりする場面を適切に設定する。
- ②「誰に伝えるか」という目的意識を身近な人にし、学ぶ意欲を継続した上で、話し合いの活動の形態や手段を工夫し、主体的に活動ができるようにする。
- ③ICT端末の活用を通して、学習履歴を残し、学びの実感を得られるようにする。

1 単元名・教材名 伝えよう！私の印象に残った言葉

「伝えたい、心に残る言葉」

2 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童は9月に実施した「問題を解決するために話し合おう」を扱った単元で、目的や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることを中心に役割を果たしながら話し合いを進め、結論をまとめていった。しかし、発言の際に、意図や目的がつかめずになかなか話し合いが進まなかったり、表現力や語彙力が乏しく発言内容が相手に伝わらなかったりしている児童も見受けられた。

本単元では、児童それぞれが心に残っている言葉について、他のクラスの友達の前でスピーチをするという言語活動を通して、集めた材料を分類したり関係付けたりすることや自分の考えが伝わるように表現を工夫する資質・能力を身に付ける。活動の中では、伝えたいことが聞き手の印象に残るようにするにはどうすればよいのか伝え合う内容を検討することで、発言内容をどのように工夫すれば相手に伝わりやすくなるのかを考えていくことが中心である。

指導に当たっては、「目的や意図に応じて、話の構成や表現を工夫して、伝えたいことが印象に残るように話す」力を重点に育成したい。そこで、心に残った言葉を集めることを事前に伝えて、自分の生活の中で意識をさせておくようにする。そして、単元導入時では「友達に伝えたい」という意欲をもたせるために、これまでの経験から心に残った言葉を個人やグループ、全体で想起し共有することを通して、どんなことを伝えたいか具体的にイメージさせるようにする。また、単元導入時点でのスピーチの様子を録画しておき、単元の終末に自分の学びの変容を感じ取れるようにする。さらに、「伝えたいことが印象に残るように話すにはどうすればよいか」について、友達と話し合う機会を設ける。お互いにスピーチを見合ったり、助言したりしながら主体的、協働的に学ぶことを通して「話すこと・聞くこと」の力を高めていく。

3 単元の目標

(1) 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。

〈知識及び技能〉(1)オ

(2) 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉A(1)ア

(3) 言葉がもつよさを確認するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

4 本単元における言語活動

心に残っている言葉について、自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりする。(関連：言語活動例ア)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ)	①「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A1)ア)	①粘り強く、集めた材料を分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討し、学習の見通しをもって自分の考えを話したり、聞いたりしようとしている。

6 指導と評価の計画（全5時間扱い）

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方をつかむ。 ○身近な話題で、スピーチをする。 ○単元学習後の姿をイメージする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の設定の仕方 ・既習事項（音声面の工夫） 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の構成メモを参考にし、伝わり方の異なる2種類のスピーチを教師が実際に話すことで本単元で何を学ぶのかを明確にする。 ○今伝えたい言葉をその場でスピーチし、動画に保存する。 ○「誰に伝えるか」を児童との対話の中から考えさせ、意欲付けを図れるようにする。
	<p>事例のポイント② 誰に伝えるかを児童と一緒に考えることで目的意識をもって単元に臨めるようにする。</p>		
2	<ul style="list-style-type: none"> ○伝えたい言葉を選ぶ。 ○話す材料を集め、「材料メモ」を作成する。 ○どんなことを伝えるか友達と交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話す材料の集め方 ○「材料メモ」の書き方 	<ul style="list-style-type: none"> ○材料メモを書くためにイメージマップなどを活用して、これまでの経験から心に残っている言葉と自分の気持ちがどのように変化したかを全体で共有し、取りませる。 ○振り返り等はICT端末に入力し、履歴を残す。(毎時)
	<p>事例のポイント③ ICT端末を活用し、学習履歴を残す。単元の最後には、自分の毎時間の振り返りを見て、学びの実感を得られるようにする。</p>		<p>【思考・判断・表現①】 ワークシート・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が伝えたい内容について日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討しているかを確認する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○話の構成や表現の仕方を考える。 ○「構成メモ」に書き出し、話す練習をしながら、必要なところを加筆する。 ○出来上がった「構成メモ」を見て、友達とスピーチの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話の構成の工夫の仕方 ○構成の工夫の仕方 ○「構成メモ」の書き方 	<ul style="list-style-type: none"> ○「伝えたい言葉をどのように組み込むか」「エピソードの内容・順番・言葉の表現」に着目させ、各自で考えさせるようにする。 ○ワークシートを3種類用意し、自分で選んで書けるようにする。
	<p>編 P36 指導計画作成の留意事項(6)</p>		
	<p>事例のポイント① お互いにスピーチを聞き合うことで自分の考えなどを広げたり深めたりできる。アドバイスをもらったところは構成メモに加筆する。</p>		<p>【思考・判断・表現①】 ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を加筆しているかを確認する。

4	<p>○出来上がった構成メモをもとにスピーチの練習をする。</p> <p>○ペアでお互いのスピーチを聞き合い、観点に沿ってアドバイスし合う。</p> <p style="text-align: center;">編 P36 指導計画作成の留意事項(2)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事例のポイント① お互いにスピーチを聞き合うことで自分の考えなどを広げたり深めたりできる。アドバイスをもらったところは構成メモに加筆する。</p>	<p>○話す構成の工夫の仕方</p> <p>○話す表現の工夫の仕方</p> <p>○聞く観点</p>	<p>○ペアを何回か変え、いろいろな友達からアドバイスをもらい、自分のスピーチをよりよく改善することができるようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【思考・判断・表現①】 ワークシート ・友達とお互いにスピーチの練習をして自分の考えが伝わるように表現を工夫し、検討しているかをワークシートの記述や活動の取組から確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【主体的に学習に取り組む態度①】 振り返り・発言 ・話したり聞いたりを繰り返すことで友達の意見を参考にしながら話の構成や内容、表現を検討して取り組もうとしているかを確認する。</p>
5	<p>○スピーチ会をする。</p> <p>○学習の振り返りをし、身に付いた力を確かめる。</p> <p style="text-align: center;">編 P36 指導計画作成の留意事項(3)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事例のポイント② 他のクラスの児童とグルーピングを行い、スピーチ会をする。なるべく大きい部屋で活動が行えるよう留意する。</p>	<p>○聞く観点</p> <p>・学習内容の深め方</p>	<p>○4～5人のグループごとにスピーチができるようにする。</p> <p>○お互いに聞き合う観点を提示し、よかったところを伝え合えるようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【知識・技能①】 観察 ・自分のスピーチの中で語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っているかを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【主体的に学習に取り組む態度①】 ワークシート・観察 ・主体的に自分の考えを話したり、興味をもって友達の話を聞いたりしようとしているかを確認する。</p>

7 本時の学習指導（本時4／5時）


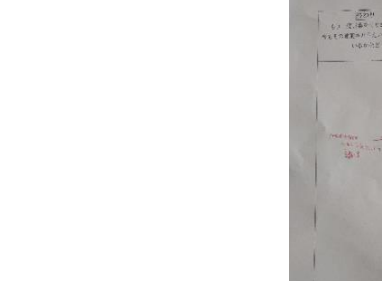
(1) 目標

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉 A(1)ア
- 言葉がもつよさを確認するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 評価規準

- 「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 **【思考・判断・表現】**
- 粘り強く、集めた材料を分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討し、学習の見通しをもって自分の考えを話したり、聞いたりしようとしている。 **【主体的に学習に取り組む態度】**

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間												
1 前時の学習を振り返り、本時の学習を確かめる。		○掲示物として残し、視覚的に振り返ることができるようにする。	2												
印象に残るようにスピーチをするためにお互いに聞き合い、内容を検討しよう。															
2 どのような工夫をすることでよりよいスピーチになるのか確認する。 【音声面】(単元中は掲示しておく) ・声の抑揚・声の表情、大きさ ・間 ・目線 【内容面】 ・表現の工夫 (様子や音など) ・伝えたい言葉がわかりやすい (繰り返しなど) ・エピソードをくわしくしている ・全体に問いかけをしている	○話す構成の工夫の仕方 ○話す表現の工夫の仕方 【聞く観点カード】5年□□組□□番□名前 <table border="1" data-bbox="571 651 1227 801"> <thead> <tr> <th data-bbox="571 651 895 680">〈話し方の工夫〉</th> <th data-bbox="900 651 1227 680">〈内容の工夫〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="571 680 895 710">□声の大きさ</td> <td data-bbox="900 680 1227 710">□構成 (話す順番)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 710 895 739">□間の取り方</td> <td data-bbox="900 710 1227 739">□表現 (様子や音) を工夫</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 739 895 768">□声の表情</td> <td data-bbox="900 739 1227 768">□全体に問いかけや繰り返し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 768 895 797">□声のよきよう</td> <td data-bbox="900 768 1227 797">□心に残っている出来事が分かりやすい</td> </tr> <tr> <td data-bbox="571 797 895 826">□目線</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> メモ欄 (アドバイスは)	〈話し方の工夫〉	〈内容の工夫〉	□声の大きさ	□構成 (話す順番)	□間の取り方	□表現 (様子や音) を工夫	□声の表情	□全体に問いかけや繰り返し	□声のよきよう	□心に残っている出来事が分かりやすい	□目線		○教科書を参考にし、聞き手に印象を残すために、どのような工夫があるのかを【音声面】【内容面】に分けて具体的に確認する。	8
〈話し方の工夫〉	〈内容の工夫〉														
□声の大きさ	□構成 (話す順番)														
□間の取り方	□表現 (様子や音) を工夫														
□声の表情	□全体に問いかけや繰り返し														
□声のよきよう	□心に残っている出来事が分かりやすい														
□目線															
3 話の構成をもとにスピーチ練習をする。 (1) 個人で話す。 (2) ペアで話し加筆する。	○聞く観点に沿った改善の仕方 ・加筆の仕方	○工夫を確認した上で、自分で構成メモを見直し、個人でスピーチの練習をする。 ○スピーチをよりよいものにしていくため赤ペンでアドバイスしてもらったことを構成メモに書き込んでいくことを確認する。 ○ペアを変えて、3 回程度スピーチ練習ができるように時間を設定し、お互いにアドバイスする。 ○的確にアドバイスをするために聞く観点カードを持ち、交流する。	25												
編 P36 指導計画作成の留意事項(2)															
															
【イメージマップを示しながらアドバイス】															
															
【加筆した構成メモ】															
<p>事例のポイント① お互いにスピーチを聞き合うことで自分の考えなどを広げたり深めたりできる。アドバイスをもらったところは構成メモに加筆する。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>評価規準</p> <p>【思考・判断・表現①】</p> <p>ワークシート・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述や活動の取組から、自分の考えが伝わるように表現を工夫し、検討している児童をBとする。 (「努力を要する」状況 (C) への手立て) ・ペア活動がうまくいかない児童には、聞く観点を確認して、お互いにアドバイスを伝え合うことができるよう支援する。また、加筆・検討していない児童には、構成メモに書き込むように声かける。 </div>														

4 本時のまとめをする。

○今日の授業で何を学んだのかを提示し、自分の言葉で振り返らせる。

5

〈学習のポイント〉

- ①イメージマッピング表などの資料を活用し、話の内容を検討して印象に残るように話す。
- ②友達との交流の中で、資料や内容を検討するよさを感じ取る。

5 本時の学習を振り返り、次時への意欲をもつ。

- 何ができるようになったのか、友達との関わりについて、日常にどう生かすかなどの観点を提示し、本時の振り返りをさせる。
- 最初のスピーチと比べて、自分のスピーチは相手に印象強く伝わったかを実感させる。
- お互いに今日の授業での頑張りを評価し合い、自分の力の高まりを感じられるよう声かけを行う。
- ICT端末を活用し、振り返りを入力させ、学習履歴を残していく。

5

	F	G	H	I	J	K	L
1	今日の学習の振り返りを記入しましょう。						
112	アドバイスももらって伝えやすくなった						
113	恥にっつては、強固しているつもりでも緊張して、うまく聞けないので、家で練習したりして、緊張がほぐせるようにしたいです。発表がんばります。						
114	本番で緊張して、聞き取りがうまくできないうちにしたい。						
115	今日は、友達とスピーチをして自分がなごころを買ってくれたのでなごころをおして上手に話せるようにしたいです。						
116	友達に聞かせたことによりうまくなってます。はっ表に向けて頑張りたいです。						
117	色々な人が自分のスピーチを聞いてくれて自分の悪いところがあった。とても良かった。次は、本番なので悪いところを改善して、頑張りたい。						
118	今日は、友達と組みあって自分がかうないところを、取ってらりました!						
119	色々な人と交流して話み合うことよって、アドバイスだったり、自分の思っていることとは違う感想を言ってくれるので勉強になりました。						
120	今日の学習で、友達のアドバイスを、自分のスピーチがより良くなった気がしました。私は、山崎さんの声の表現を真似して、うまくなりたかったです。この甲元が終わるまでに、スピーチ練習は、上手くなれたので、もっと練習をして、上手く発表をしたいです。						
121	今日は、友達と伝えあって行くうちに段々なれてきたから、友達のようにならなうて、友達も喜んでくれたことなごころを覚えています。						
122	スピーチを頑張りたいです。						
123	聞かたりたい。						
124	自分か聞くい場面を指摘されたから友だちが伝えやすくなった。						
125	友達と組みあうスピーチがよりよくなることわかった。						
126	友達のアドバイスがなかったから自信を持って発表したいと思った。						
127	友達と組みあうスピーチがよりよくなりました。						
128	スピーチを頑張りたいです。						
129	スピーチを頑張りたいです。						
130	スピーチを頑張りたいです。						
131	スピーチを頑張りたいです。						
132	スピーチを頑張りたいです。						
133	スピーチを頑張りたいです。						
134	スピーチを頑張りたいです。						
135	スピーチを頑張りたいです。						
136	スピーチを頑張りたいです。						
137	スピーチを頑張りたいです。						
138	スピーチを頑張りたいです。						
139	スピーチを頑張りたいです。						
140	スピーチを頑張りたいです。						
141	スピーチを頑張りたいです。						
142	スピーチを頑張りたいです。						
143	スピーチを頑張りたいです。						
144	スピーチを頑張りたいです。						
145	スピーチを頑張りたいです。						
146	スピーチを頑張りたいです。						
147	スピーチを頑張りたいです。						
148	スピーチを頑張りたいです。						
149	スピーチを頑張りたいです。						
150	スピーチを頑張りたいです。						
151	スピーチを頑張りたいです。						
152	スピーチを頑張りたいです。						
153	スピーチを頑張りたいです。						
154	スピーチを頑張りたいです。						
155	スピーチを頑張りたいです。						
156	スピーチを頑張りたいです。						
157	スピーチを頑張りたいです。						
158	スピーチを頑張りたいです。						
159	スピーチを頑張りたいです。						
160	スピーチを頑張りたいです。						
161	スピーチを頑張りたいです。						
162	スピーチを頑張りたいです。						
163	スピーチを頑張りたいです。						
164	スピーチを頑張りたいです。						
165	スピーチを頑張りたいです。						
166	スピーチを頑張りたいです。						
167	スピーチを頑張りたいです。						
168	スピーチを頑張りたいです。						
169	スピーチを頑張りたいです。						
170	スピーチを頑張りたいです。						
171	スピーチを頑張りたいです。						
172	スピーチを頑張りたいです。						
173	スピーチを頑張りたいです。						
174	スピーチを頑張りたいです。						
175	スピーチを頑張りたいです。						
176	スピーチを頑張りたいです。						
177	スピーチを頑張りたいです。						
178	スピーチを頑張りたいです。						
179	スピーチを頑張りたいです。						
180	スピーチを頑張りたいです。						
181	スピーチを頑張りたいです。						
182	スピーチを頑張りたいです。						
183	スピーチを頑張りたいです。						
184	スピーチを頑張りたいです。						
185	スピーチを頑張りたいです。						
186	スピーチを頑張りたいです。						
187	スピーチを頑張りたいです。						
188	スピーチを頑張りたいです。						
189	スピーチを頑張りたいです。						
190	スピーチを頑張りたいです。						
191	スピーチを頑張りたいです。						
192	スピーチを頑張りたいです。						
193	スピーチを頑張りたいです。						
194	スピーチを頑張りたいです。						
195	スピーチを頑張りたいです。						
196	スピーチを頑張りたいです。						
197	スピーチを頑張りたいです。						
198	スピーチを頑張りたいです。						
199	スピーチを頑張りたいです。						
200	スピーチを頑張りたいです。						

【本時の振り返りの学習履歴一覧】

〈期待される児童の振り返り〉

今日は友達と交流をしてアドバイスをもらったので、自分のスピーチが上手になりました。友達にイメージマッピングを見せたら、その時の様子や気持ちについてくわしく考えて、スピーチの中に入れることができました。

評価規準

【主体的に学習に取り組む態度①】

振り返り・発言

- ・友達の意見を参考にしながら話の構成や内容、表現を検討して取り組んでいる児童をBとする。
- 〈「努力を要する」状況(C)への手立て〉
- ・今日学んだことは何か、自分は何かできるようになったのかを問い掛け、記入ができるようにする。さらに、板書を見ながら学んだことを振り返ることができるようにする。

